



大府市の今後の保育需要の見込みとその確保方策について

1 保育需要の現状と見込み

本市の人口は、平成28年3月末で90,160人であり、この10年間は年平均850人増加しています。なお、平成28年11月末では90,993人と人口増加はさらに進んでおり、本市の人口動態として、子育て世代（20代後半から30代）も転入超過の状況にあります。そのため、就学前児童数も増加しているうえ、0歳児から2歳児の保育需要は保護者の就労形態の多様化、女性の社会進出を背景に、今後も増加していくと見込んでいることから、保育園のさらなる整備が急務となっています。

■ 0歳児～2歳児の保育需要の見込み

	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0～2歳児人口	3,027人	3,053人	3,135人	3,182人	3,162人
保育必要数	801人	852人	887人	945人	981人
増加数	—	51人	35人	58人	36人
保育を必要とする率	26.5%	27.9%	28.3%	29.7%	31.0%

2 保育需要への対応方針

現在、市内には13の公立保育園と3つの私立保育園が設置されています。今後は、市全域で公立・私立のバランスを考え、偏りのないよう保育園を配置していくことが望ましいと考えています。また、0歳児から2歳児は市全体で保育需要へ対応し、3歳児から5歳児は小学校区単位で対応してまいります。

市内の公立保育園は、昭和40年代から50年代に整備された園が多く、今後老朽化による建替え時には保育需要を考慮した規模拡大が必要です。また、保育需要の高い地域には私立保育園を積極的に誘致することで、民間の保育事業者が持つノウハウや創意工夫を活用してまいります。

運営面においては、次年度の定員増に対応するため、公立保育園の保育士の第三次募集を現在行っているところです。採用予定者数は5名程度で、募集期間は1月4日～1月18日までとしています。

3 保育園整備における課題

市街地に保育園を整備する際に、開所後の音の問題、送迎時の保護者の車両による交通量の変化や駐車場確保などについて懸念されますが、地域住民の方から理解を得られ



るよう対応策を説明するなど、対話を十分に行っていくことが必要と考えています。

4 保育園整備の計画

■公立保育園

荒池保育園の老朽化に伴い、更新を行います。当園は現在100名定員となっておりますが、規模拡大を図り200名以上の保育園とする計画です。

	荒池保育園の更新スケジュール
平成28年度	測量、地質調査、設計業務着手
平成29年度	造成設計、実施設計、造成工事
平成30年度	建設工事
平成31年度	開所、旧園舎解体工事及び駐車場整備工事

■私立保育園

平成29年度に、定員100名程度の私立保育園を2園誘致し、平成31年度の開所を目指します。

【問い合わせ先】

大府市役所児童課

担当：小清水 崇（コシミズ タカシ）

電話：0562-45-6229

FAX：0562-47-3150

E-mail：jido@city.obu.lg.jp